

『誰でもできるタグラグビー トライセットキャンペーン』  
実施レポート

学校名	高知県南国市立岡豊小学校	実施日	12月上旬～中旬・8時間
担当教員名	野村武志	実施学年・人数	第5学年・37名

学校・学級紹介	<p>「土佐のまほろば」と呼ばれる南国市。岡豊小学校はその北部に位置する。地域には、多くの古墳や史跡などがある。本校のすぐ西には、戦国時代、四国に覇を唱えた長宗我部元親が居城を構えた岡豊山がある。現在、岡豊山は整備されて高知県立歴史民俗資料館が建ち、桜の名所ともなっている。本校の教育目標は、「地域を愛し、学び続ける岡豊の子を育てる」である。自ら考え正しく判断できる子（かしこく）、心豊かな助け合う子（やさしく）、健康で最後までやり抜く子（たくましく）を目指す児童像として、日々の教育活動を行っている。全校児童は249人。5年生は男子23名、女子14名。本学級は、明るく活発な児童が多く、体育学習には意欲的に取り組む姿が多く見られる。特に、ボールを使った運動には強く興味を示す。</p>
実施内容	<p>《ラグビーボールに親しもう》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グリッドを使ってのタグ取り合戦</li> <li>・タグ取り鬼ごっこ</li> <li>・円陣パス</li> <li>・グリッドを使ってのパス練習</li> <li>・ミニゲーム（1対1・2対1・3対3）</li> </ul> <p>《ルールを作ってゲームをしよう》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・接触プレーはすべてなし</li> <li>・ノックオン・スローファアードは相手フリーパス。オフサイドはゆるやかにジャッジ</li> </ul> <p>《タグラグビー大会を開こう》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6人1チームで3チームずつのリーグ戦方式、2リーグの同順位同士で決勝戦。</li> </ul>
指導のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タグを取ったときには大きな声で、「タグ」と言って頭上にタグを掲げる。これによって味方にもにも敵にもタグの成立がわかり、プレーがスムーズに進行する。</li> <li>・タグをとられたら、すぐに味方を見つけ、取りやすいパスを出す。</li> <li>・「投げやすいパスより、取りやすいパス」を出そうと呼びかける。</li> <li>・ラグビーは陣取りだから、ボールをもらったら、できるだけ前に進む（後ろにもどらない）。</li> <li>・走りながらパスを出したり、走りこんでパスをもらったり、スピードのある動きをする。</li> <li>・審判の指示は絶対である。（文句を言わない。）</li> <li>・「ノーサイド」という言葉の意味を教える。勝ち負けも大事であるが、相手チームと審判がいて初めて試合ができることの大切さを指導する。礼儀とフェアプレーなどスポーツマンシップの大切さも指導する。</li> </ul>
感想・印象 今後の展望	<p>授業では、初めて取り組むタグラグビーであったが、みんなが楽しく取り組めた。ルールを守ってプレーができ、ラグビーの楽しさを実感できた。</p> <p>タグラグビーのルールはシンプルであり、ふだんボール競技で目立ちにくい児童でもボールを持って走り回ったり、タグをとるため一生懸命敵を追っかけたり、夢中になっている姿がたくさん見られた。「またやりたい!」という感想が多かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サッカーやバスケット等と違い、ドリブルやシュートのスキルを身に着ける必要がないので、鬼ごっこの感覚で走ることができ、どの子にも運動量が確保され、運動技術の向上に向いているスポーツだと感じた。今後も体育の授業の中で取り入れていきたい。</li> </ul>